

Global Biochar Exchange 2025 登壇レポート

～企業と地域が共に描く、バイオ炭による未来像～



地域と共に知見を実働に変えていく

2025年4月22日と23日、名古屋のSTATION Aiにて開催された国際イベント「Global Biochar Exchange 2025」で、ステラーグリーンの代表取締役社長の中村彰徳が登壇し、「地域資源を活かしたカーボンインセッティング」というテーマで講演を行いました。

中村は冒頭、近年のグローバルな潮流として、カーボンニュートラルやネットゼロ達成に向けた取り組みが求められる中、バリューチェーン内部で温室効果ガス（GHG）の削減及び除去を行う「カーボンインセッティング」が果たす本質的な役割について整理しました。特に、2024年に発表されたGHGプロトコル草案において、カーボンインセッティングが「戦略的アクション」として明文化された点を踏まえ、単なるカーボンオフセットの延長ではない、環境・経済・地域社会という3つの価値を同時に創出する持続可能な手法であることお話ししました。



実践知から学び、制度を味方に

続いて、ステラグリーンがこれまでに取り組んできた具体的なプロジェクト例を交えながら、単なる炭素固定や収益化を目的とするのではなく、地域関係者との合意形成と信頼構築を基盤に据えることの重要性を述べました。

紹介したプロジェクト例は以下の通りです。

- 北海道八雲町
間伐材の利活用と森林管理による地域資源活用モデルの構築。
- 静岡県浜松市天竜区
バイオ炭を活用した農地改良と、未利用森林資源の価値転換。
- 「森の芸術祭」連携プロジェクト
地域文化と森林資源を融合させた新しい共創型モデルの創出。

また、J-クレジット制度におけるステラグリーンの実績と運用事例も紹介し、森林管理における価値化と地域経済の循環を両立する仕組みづくりについても具体的に説明しました。聴講者からは、「制度に寄り添いながら、地域価値創出を実現するスキーム」であると高い評価をいただきました。



国際的な登壇者たちとの知見共有

今回の「Global Biochar Exchange 2025」では、バイオ炭・カーボンクレジット分野の世界的な専門家が多数登壇し、実践的な知見と制度的な洞察を共有しました。ステラグリーンの講演とともに、こうした国際的プレイヤーとの交流は、本イベントの大きな魅力の一つでした。

Global Biochar Exchange 2025 TIME TABLE

DAY 1

- Sub Session #3 - Sponsors' Speech (スポンサーによるスピーチ)

Kwangyul Peck

- Main Session #3 - Carbon Credit (カーボンクレジット)
Ueli Steiner, Alvin Lee, David Armstrong, Shigeto Sudo, Tommy Ricketts
- Main Session #4 - Carbon Insetting (カーボンインセッティング)
Jorge Larranaga, Akinori Nakamura, Tsubasa Tamura
- Main Session #4 - Carbon Insetting (カーボンインセッティング)
Masashi Miyajima, Chisa Ogura, Tommy Sekiguchi, Daniel von Wassern, Johann Pazzi, Tadashi Kobayashi

DAY 2

- Sub Session #3 - Sponsors' Speech (スポンサーによるスピーチ)
Kwangyul Peck
- Main Session #3 - Carbon Credit (カーボンクレジット)
Ueli Steiner, Alvin Lee, David Armstrong, Shigeto Sudo, Tommy Ricketts
- Main Session #4 - Carbon Insetting (カーボンインセッティング)
Jorge Larranaga, Akinori Nakamura, Tsubasa Tamura
- Main Session #4 - Carbon Insetting (カーボンインセッティング)
Masashi Miyajima, Chisa Ogura, Tommy Sekiguchi, Daniel von Wassern, Johann Pazzi, Tadashi Kobayashi



Tommy Ricketts 氏

Andre Freire Cruz 氏

持続可能な未来へ、地域とともに

ステラグリーンはこれからも、未利用森林資源の利活用、バイオ炭による土壌改良、森林J-クレジット制度を活用した地域課題解決など、企業と地域が共に歩む持続可能なモデルの実現を目指します。

本イベントを主催して下さった皆さま、ご来場いただきました皆さま、そして世界各地からお集まりいただいた皆さまに、心より御礼申し上げます。

今回の出会いと学びを力に、地域と共に未来を拓く歩みを、さらに力強く進めてまいります。

■株式会社ステラグリーンについて



ステラグリーンは「自然の価値に、輝く道を。」を経営理念に、生物多様性を保全しつつ、最新のテクノロジーを活用して地域の自然資源を価値あるものに変換することで、持続可能な地域社会の構築を実現することを目指しています。ステラグリーンは森林カーボンクレジットの生成から販売まで、成功報酬型のワンストップサービスを提供しています。

株式会社ステラグリーン：<https://www.stellargreen.co.jp>

- プレスリリースに掲載されている会社名、サービス名などは各社の登録商標または商標です。
 - プレスリリースに掲載されている内容、サービス、仕様、お問い合わせ先、その他の情報は、発表時点の情報です。その後予告なしに変更となる場合があります。
-